

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年度は、国の金融政策の効果もあって経済不況からの脱却が見え始め、景気回復の兆しが増したものの、高齢者を取り巻く労働環境については、定年延長や継続雇用制度を各企業が導入している「高齢者雇用確保措置」により 65 歳までの雇用継続が定着してきています。

わが国の高齢化が益々進む中、地域社会のニーズに応じて、多様な就業機会や社会参加の機会を確保・提供することにより、高齢者の生きがいの充実や高齢者福祉の増進及び地域の活性化に寄与するため、次の事項を基本方針として数値目標の達成と安全・適正就業徹底等に努めました。

I 基本方針

- 1 多様な知識・資格・能力のある高齢者の入会促進と就業機会の確保・拡大を図りました。
- 2 安全・適正就業を推進し、魅力あるシルバー人材センターの実現に努めました。
- 3 財政基盤の強化を図りました。
- 4 公益法人として、公益目的事業を着実に実施するとともに、法に準拠した適切な運営に努めました。

以上に基づく事業の結果として、ほとんどの数値目標は前年度を上回る結果となりました。

平成 28 年度の事業状況について、年度当初に掲げた数値目標・事業実施計画及び運営体制に基づき、その概要を報告します。

II 事業実施報告

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な就業機会の提供
高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これを会員に対して、その能力、希望等に応じて請負又は委任の形式により提供する事業を行いました。

数値実績

1 就業延人員	31,271 人日
2 受注件数	850 件
3 契約金額	150,296,718 円

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な就業機会の提供

- ① 有料の職業紹介事業による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な就業を希望する会員及び一般高齢者のために、有料の職業紹介事業を行ったが結果として下記の通りとなりました。

数値実績

- ・ 求人件数 0 件
- ・ 有料職業紹介事業 0 円

- ② 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する会員のために、臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業の範囲で、労働者派遣事業を行いました。

数値実績

- ・ 契約件数 2 件
- ・ 就労延べ人数 15 名
- ・ 契約額 116,640 円

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る必要な知識及び技能を付与するための講習会

- ① 技能講習会の実施

就業上必要な知識、技能を就業意欲のある高齢者に付与することにより、就業に結び付けるとともに、より広い分野での仕事を確保、提供するため、次の通り実施しました。

- 新会員向け安全講習会 9 回
- 就業会員向け安全講習会 1 回
- 技能講習会（刈払機） 2 回
- うちな一ぐち（方言）講習会 1 回

(4) 上記（1）～（3）の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための活動

- ① 普及啓発

本事業への信頼と理解が得られるよう、一般市民、事業所、官公庁等に対し本事業の意義と基本的な理念及び仕組みを周知するとともに、高齢者自身の本事業に対する意識啓発を図るため、次の通り行いました。

<具体的な取り組み>

ア 地域の高齢者へシルバー人材センター事業を周知し、事業参加の呼びかけを行いました。

イ 普及啓発月間（10月）を実施しました。

- ・ 内容 ボランティア清掃の実施（参加者59名）

ウ シルバーだよりの発行（1回）

エ 月間シルバー人材センターの配布（市役所、図書館等）

② 安全・適正就業の推進

高齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を行いました。

ア 安全委員会の開催（2回）

イ 安全推進員を配置し、安全パトロールの実施（120回）

ウ 安全就業強化月間及び安全・適正就業推進大会を実施した。

- ・ 連合主催、安全・適正就業推進大会への参加（10名）
- ・ 当センターの安全・適正就業推進大会の開催（76名）

エ その他、班長会議等において安全・適正就業に関する研修の実施し、また安全掲示板を活用し、事故の防止を行いました。

③ 調査研究

高齢者の就業に対する意識調査及び地域ニーズや時代の要請に対応した事業展開を図るために次の通り調査研究を行いました。

ア 高齢者の就業に対する意識に関する調査を行いました。

- ・ 入会説明会開催回数 9回 参加者 55名

イ 各種会議・研修会にて得た情報を基に研究し、センター事業に反映させました。

- ・ 会議研修会参加 8回

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、高齢者の職業能力や経験を把握・分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を次の通り行いました。

ア 就業開拓員（2名）による一般家庭、事業所、官公庁等に就業開拓を実施しました。

- ・ 開拓日数（延べ） 240日
- ・ 訪問件数 672件
- ・ チラシの配布 15,906枚

イ 会員等による就業開拓

・随時班長等が対応しました。

⑤ 企画提案方式事業

地域社会における「介護」「教育」分野の課題に応えるため、地方公共団体と連携した地域密着型の事業を推し進めました。

ア 地方公共団体と連携が取れず、実績に結びつきませんでした。

⑥ 入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、地域における高齢者のワンストップサービスセンターとして、雇用、就業、職業能力開発、ボランティア活動、情報提供を一般市民や高齢者に行いました。

ア 入会説明会の実施 9回

イ 高齢者相談日の実施 24回

⑦ 社会参加活動の推進

ア 糸満市が実施するボランティア清掃への参加 (385名)

イ 慰霊の日前の平和祈念公園のボランティア除草への参加 (66名)

ウ その他のボランティア活動や地域伝統行事への参加

・糸満大綱引の「道ズネー参加」 (16名)

・小学校での読み聞かせ (88名)

計 555名

(5) 運営体制

① 会議

ア 定時総会の開催 1回

イ 理事会の開催 14回

ウ その他必要な会議の開催

・連合主催事業推進検討委員会 3回、事務局長会議 3回

② 事務局体制の充実

センターの事業運営には、事務局体制の充実が不可欠であり、そのために事務局職員の資質向上を図りました。

ア 新たに導入される事業や再編事業等、変化してゆくシルバー事業へ対応するための情報を収集し、組織的に対応できる事務局体制を構築しました。

イ 各種研修会参加及び他センターとの連携により職員の資質向上を図りました。

ウ 事業を円滑かつ効率的に推進するため、定期的な職務会を実施しました。

エ 沖縄県シルバー人材センター連合との連携を図りました。